



国際ロータリー第2670地区

高松西ロータリークラブ

2026年2月13日 Vol.20

よいことの Weekly Report ために 手を取りあおう



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 I.T.広報委員会

会長: 鈴木雅博 / 幹事: 堀井実 / 副会長: 遠藤直樹 / 会長エレクト: 藤田俊和 / 副幹事: 岡田和幸 / S.A.A. 松岡寛征

今週のプログラム

第2657回

2月13日

新入会員卓話: 吉田会員

担当者 プログラム委員会

例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム

第2656回

2月6日

卓話: 「ドローンを利用した危機管理」 神原会員

担当者 危機管理委員会

例会場 JRホテルクレメント高松



鈴木会長挨拶

・皆さんこんばんは。
暦の上では立春ですが週末は寒波到来ということ体調管理にはお気を付けて下さい。
本日はさぬきRC様よりIMのご案内で田淵様と谷野様がお見えになっております。
のちほどご挨拶よろしくお願ひします。
また、神原会員によるドローンを使った危機管理についてのお話があります。
それでは最後までよろしくお願ひします。
以上です。

ビジター

さぬきRC 谷野 行範 様 田淵 保 様

メイクアップ

1月27日 高松東RC 藤田

よいことの ために 手を取りあおう



堀井幹事報告

回覧

- IMが3月21日に開かれるので、その案内と出欠表を回覧で回します。

- ロータリー手帳を注文される方について回覧で回しますので、御記入ください。

- ガバナー月信が届いておりますので、回覧に回します。

- ロータリーの友が届いています。また、財団に対する寄付金の証明書が届いており、確定申告において寄付金控除を行う場合には、添付する必要があります。いずれも、ボックスの中に入っていますので、お持ち帰りください。

報告

- また、前回の例会で継続審議になっておりました。住谷幸伸会員を2028-2029年度2670地区ガバナーに推薦することについて、パスト会長幹事会の意見を踏まえて、例会において全会一致で承認されました。

出席報告

出席委員長: 大西一正

会員数 /	43名	出席規準数 /	41名
出席者数 /	28名	欠席者数 /	13名
出席率 /	68.29%	ビジター /	2名
最終出席率 /	1月9日 78.05%	→	78.05%

2月13日 今日は何の日

今日生まれの有名人

四つのテスト

世界ラジオの日/日本遺産の日/NISAの日

1993年 有村架純 1964年 出川哲朗

言行はこれに照らしてから

2000年 グリコ・森永事件の全ての事件が時効

1965年 南原清隆 1950年 竹宮恵子

1. 真実かどうか

2017年 北朝鮮の金正男がマレーシアで暗殺される

1965年 ヒロミ 1949年 南こうせつ

2. みんなに公平か

誕生花 「エーデルワイス」花言葉は「大切な思い出・勇気」

1965年 ヒロミ 1949年 南こうせつ

3. 好意と友情を深めるか

誕生石 「ジェット」宝石言葉は「魔除け・浄化・忘却」

4. みんなのためになるかどうか

Rotary
高松西ロータリークラブ

例会場 JRホテルクレメント高松 高松市浜ノ町1番1号

事務局: TEL(087)813-8376 TEL(087)813-8375

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)



ニコニコBOX

IMのご参加よろしくお願ひします。さぬきRC 谷野様・田淵様	堀井
神原さん、卓話ありがとうございます。	鳥養
ホプシーズのコンサートにお花を頂きました。	入谷
お米が届きました。ありがとうございます。	村上
住谷さん、たいへんご苦労様です。	

遅刻	2件
----	----

合計 7 件

本日の合計 31,000 円

2025-2026 年度 累計 531,500 円

2025-2026 年度 2 月定例理事会

日 時	2026年2月6日
場 所	J R ホテルクレメント高松 : 例会場
出席者	鈴木、遠藤、堀井、五ノ坪、松岡、中井、住谷 オブザーバー 岡田
議 題	① 2670地区監査委員に江島会員を推薦することについて→承認された。 ② 高松市のガードレールの設置に関する支出について→10万円を支出すること及び設置場所については会長幹事に一任することが承認された。

2026-27 年度 RI 会長メッセージ

インパクトある活動と「世界をオープンに受け入れる」ことを 国際ロータリー会長エレクトが強調



オンラインカ H. ババロラ RI 会長エレクト
2026-27 年度 国際ロータリー (RI) 会長

1月12日、米国フロリダ州オーランドで開催中の国際協議会でオンラインカ H. ババロラ国際ロータリー会長エレクトが講演し、クラブでの歓迎的な環境づくり、意義あるプロジェクトの実施、人生を変えるようなロータリーでの体験を通じて、「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼びかけました。

「ロータリーは私たちを変えました。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。私たちは“世界を変える”ことをよく話題にします。ボリオ根絶や平和構築について語ります。しかし、ロータリーが自分自身をどう変えたかについては、あまり考えません」

ナイジェリアのトランス・アマディ・ロータリークラブの会員であるババロラ氏は、十代のときにローターアクトクラブで活動したことが、恵まれた環境で育ったことによる狭い視野から抜け出し、より広い世界を見るきっかけになったと語りました。その気づきは、地域社会の人びとに読み書きを教える活動など、クラブが生み出したインパクトを目のあたりにしたことでもたらされました。

「ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています」とババロラ氏。「そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。成果だけでなく、インパクトを重視すべきです」

変化とインパクトは同じではない、と述べた上で、ババロラ氏はこう続けました。「変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです」

インパクトを理解する

ババロラ氏は、南アフリカ・ナイズナでの幼児教育の拡充や、ナイジェリアでの妊産婦ケアの改善など、ロータリー会員がインパクトを生み出していると述べました。ナイズナ・ロータリークラブは、地域の女性たちが幼児教育センターを開設・運営できるよう支援しました。

「このプロジェクトは何千もの子どもと家庭に恩恵をもたらし、今何何世代にもわたって教育を提供し続けるでしょう」とババロラ氏。「このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます」

また、「ナイジェリアにおける健康な家族のための協力」の幅広いインパクトにも触れました。妊産婦と新生児の死亡率を減らすこのイニシアチブは、2022年に200万米ドルの大規模プログラム補助金を受領しました。

ババロラ氏はこう説明します。「ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。このプロジェクトは今後数十年にわたり、ナイジェリア全土で命を救い続けるでしょう」

より歓迎的な姿勢を

クラブの新しい入会者に対してよりオープンに歓迎するよう呼びかけたババロラ氏は、ローターアクト時代にロータリークラブに入りたいと思ったものの、クラブ会長から冷たい対応を受けた自身の経験について語りました。

「彼(クラブ会長)はこう言いました。“何という厚かましさだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ”、と」とババロラ氏は振り返ります。「そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。“子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした”」

当時と比べれば良くなつたものの、まだ十分ではないとババロラ氏。一部のクラブは世界をオープンに受け入れるどころか、閉ざされたままであり、若い人たちが尊重されず、考え方や背景が異なる人が歓迎されないこともあると述べ、人びとをよりよく受け入れるにはどうしたらよいかを考えるよう促しました。

「例会や奉仕プロジェクトでの皆さんの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです」

さらに、自身の変化を促すもう一つの方法は、自分のベストを超えることだと述べました。過去の募金活動やプロジェクト、会員増強の成功を振り返り、それを超えるべくさらに挑戦するよう地区リーダーに呼びかけました。

「自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができるのです」

次週のプログラム 第 2658 回

新入会員卓話 : 木村年克会員

担当者 プログラム委員会

2 月 27 日

例会場 J R ホテルクレメント高松